

小売業の労働災害防止に取り組みましょう 転倒・腰痛等の「行動災害」が多発しています！

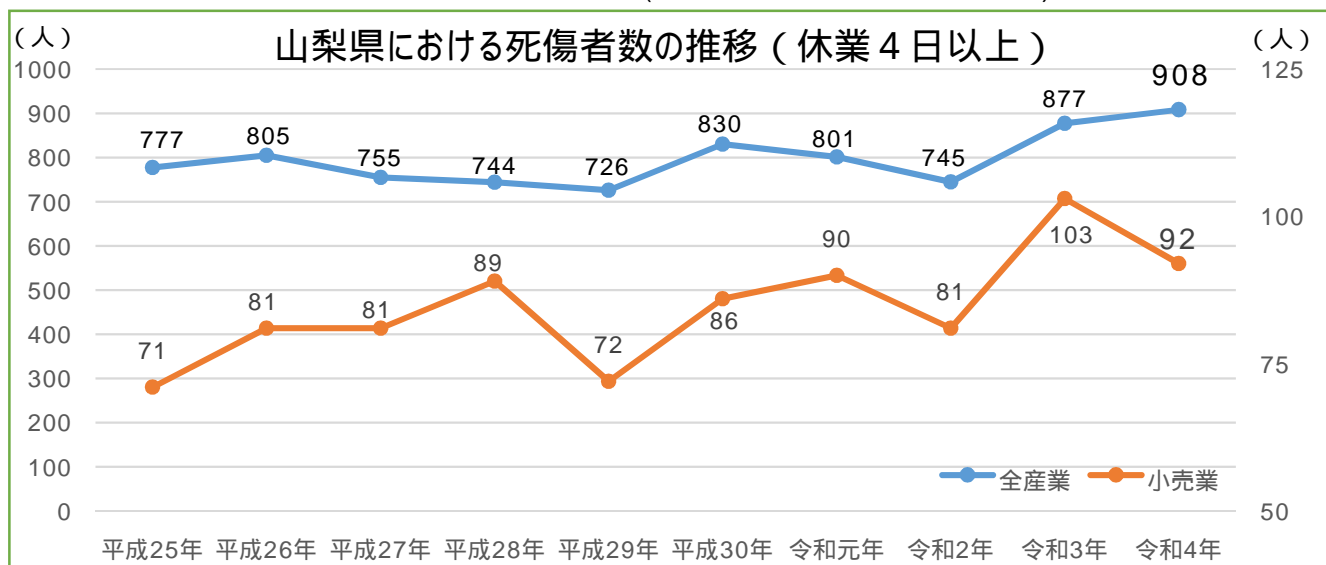
小売業において、転倒や腰痛等の「行動災害」が多発しています。

県内の小売業の労働災害の約5割を占めている、転倒災害・腰痛災害の防止に取り組みましょう。

1 山梨県における労働災害の概況

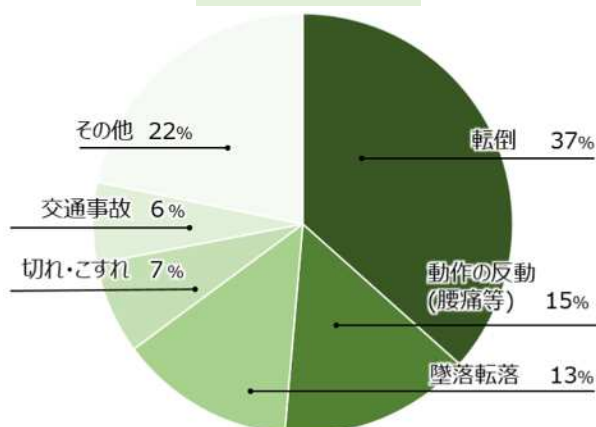
県内の全産業における死傷者数は、昭和35年（1960年）の3,856人をピークに減少傾向が続いていますが、近年は増減を繰り返しており、令和4年（2022年）は、過去10年間で最多の908人となりました（新型コロナウイルス感染症を除く。）。

また、小売業における死傷者数は増加傾向にあり、令和4年（2022年）は、過去10年間で最多となった2021年の103人に次ぐ92人で、2番目に多い年となりました（新型コロナウイルス感染症を除く。）。



2 小売業における労働災害の発生状況

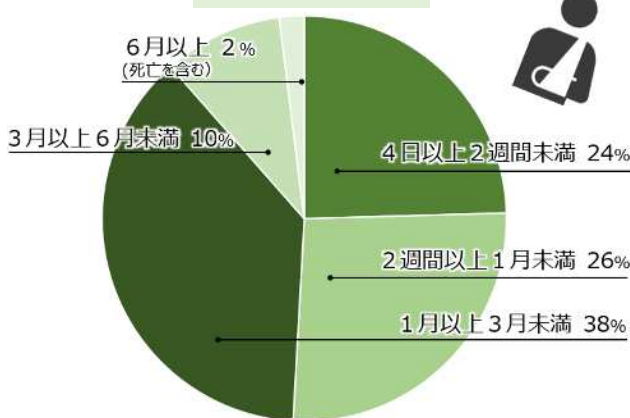
事故の型別



過去5年の小売業の労働災害の発生状況を事故の型別にみると、「転倒」が最も多く、全体の3分の1以上を占めています。

さらに、「転倒」と「腰痛」等の「動作の反動」と合わせた、「行動災害」として見ると、全体の5割以上を占めています。

休業日数別



労働災害により休業した日数別にみると、「1月以上3月未満」が最も多く、約半数が休業1月以上となっています。

転倒等の行動災害は軽く済むイメージがありますが、実際には骨折等を伴う重篤な災害も多く発生しています。

3 労働災害の発生事例

転倒

どこで	何をしていた	何が原因で (何がきっかけで)	いかにして	どうなった	ケガの程度 休業日数
作業場	ゴミを捨てるため 移動していた	床が油で滑りやすくなっていた	滑った	転んだ	手首を骨折し 1月休業した
作業場	トイレに向かって 移動していた	扉のストッパー	躓いた	転んだ	膝にひびが入り 1月休業した
バックヤード	商品の補充作業のため、台車を取りに行こうとした	スイングドア付近のマット	躓いた	転んだ	腰部を打撲し 1月休業した
駐車場	出勤のため店舗に向かっていた	車止めブロック	躓いた	転んだ	肘関節の靭帯を断裂し 1月休業した



腰痛

売り場	食品レジのカゴを回収していた	集めたカゴを勢いよく持ち上げた		腰を痛めた	急性腰痛により 1週間休業した
売り場	商品の仕分けをしていた	頭より上の位置にある商品を下ろそうとした		腰を痛めた	急性腰痛により 1月休業した



利用者・従業員の 安全・安心な施設づくりのため 下記の対策に取り組みましょう

作業場所の
整理整頓



危険箇所の
見える化



持ち物の
制限



作業場所の
清掃



手すりの
設置



重い物は
2人で保持



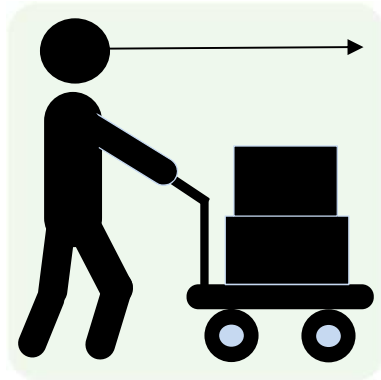
毎日の運動



滑りにくい
靴の着用



台車の利用



安全で安心な店舗・施設づくりに取り組みましょう！
詳しくはこちらをチェック！



小売従業員が安心して働くために

整理・整頓 清掃・清潔

見た目にきれいなだけでなく、つまづいたり転んだりすることも減りました



厚生労働省のホームページで4S（整理・整頓・清掃・清潔）の方法を公開しています。



危険の見える化

危険の原因が誰から見てもわかるので、事故やケガが減りました



厚生労働省ホームページで「職場の危険の見える化（小売業）実践マニュアル」をご覧ください。



設備の改善

滑らず蒸れない靴のおかげで快適！



うっかり手を切る心配がありません！

段ボール専用カッターを使用する。



職場環境の改善等のために、エイジフレンドリー補助金をご活用ください。



転倒・腰痛 予防体操

足を前に



足を後ろに



YouTubeで、転倒・腰痛の予防に役立つ「いきいき健康体操」をご覧ください。



山梨県小売業SAFE協議会は、構成員による連携した取組として、行動災害防止の予防に係る啓発資料等の作成等により、安全衛生管理の好事例等を山梨県内の事業場に水平展開しています。
山梨県小売業SAFE協議会構成員：山梨労働局労働基準部健康安全課・山梨県産業労働部労政雇用課・甲府商工会議所・全国健康保険協会山梨支部・山梨県損害保険代理業協会・株式会社オギノ